

謹賀新年



平成24年1月 市川商工会議所



年頭所感

市川商工会議所 会頭 片岡直公

平成24年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

会員事業所の皆さまには、日ごろから商工会議所の運営に対し、多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げますとともに、皆さまの事業のますますのご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。

さて、先の震災から10ヵ月が経過しようとしています。被災地ではわずかずつではありますが、復興の兆しが見えております。しかしながら放射能の除染や風評被害による影響もあり、本格的な復興にはまだまだ緒に就いたという状況ではないでしょうか。市川市においても、市内産業にさまざまな影響がみられました。計画停電による売り上げ減少をはじめ、行徳臨海部では液状化現象により、ライフラインや護岸、建物、生産設備等に多大な被害が発生いたしました。被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

国内経済は、急激な円高の進行や欧州の金融危機、タイの洪水被害による製造業への影響など、本格的な回復には一層の時間を要することが懸念されます。また「社会保障と税の一体改革」といった緊急の課題も注視していく必要があります。

このような状況の中、市川商工会議所は地域を代表する総合経済団体として、地域経済の振興発展のため、さまざまな事業に取り組んでまいりました。昨年7月には市内工業地域の視察研修会を行い、各工業地域の震災による被災地区の現状把握と操業環境の改善など、市川市長への要望活動を行いました。また9月から12月にかけて、市川市のご協力により実施いたしました「ローズいちかわ商品券」発行事業では、プレミアム分を含め5億5千万円の商品券を発行し、消費マインドが低下傾向にある中で、市内商業の活性化に効果をもたらしました。そのほか産フェスタの開催、地域ブランド事業、まごころサービス運動など、これからも国・県・市や地域の関連団体との連携をより密にして、市川市の地域経済の発展、街づくりに関する要望事項の実現のため、役員・議員・職員とが一体となって事業推進に向けて努力してまいります。皆さまにはより一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願いするところであります。

平成24年度は、以下に掲げる事業を重点事業として取り組んでまいります。

1. 市内商工業者の広報活動充実による情報発信とIT推進
当所の会報・ホームページを活用し、経営に必要な情報をタイムリーに発信していきます。電子入札やe-Taxなど、経営にITが必須となっていることから、講習会の開催などでITの活用を支援してまいります。
2. 商工業振興事業
業種別の部会活動と産業振興事業（講習・講演会、人材育成、先進地視察など）の充実により、市内事業所と地域経済の活性化を図ってまいります。
3. 中小企業・小規模事業者対策の充実、強化
市内小規模事業者の経営、金融、税務・財務についてサポートしてまいります。
4. 地域の活性化に向けた街づくり並びに商業振興支援
市内消費者の購買欲の促進と商業活性化を目的に、「まごころサービス運動」を実施いたします。
5. 市内産業のビジネスチャンスの拡充
「いちかわ産フェスタ」の開催で、市内産業を広く内外にPRし、ビジネスチャンスの拡充を図ってまいります。
6. 地域ブランド事業の実施
市川の特産である「市川の梨」、「三番瀬の海苔やアサリ」、「市川のおさかな」などのPRや、これらの地域資源を活用した商品や創作料理等の開発の支援を行います。
7. 地域まちづくり支援事業の実施
夏の風物詩として親しまれている「市川ほおずき市」など地域イベント事業への協力と支援を行ってまいります。

結びに、皆さまにとりまして、本年が実り多き年となることをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



年 頭 所 感

市 川 市 長 大 久 保 博

新たな年を迎え、皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

世界同時不況から、新興国の成長にも助けられて回復の兆しを見せていた世界経済は、欧州の債務危機により、再び先の見えない状況にあり、わが国でも、昨年3月の震災により一段と悪化した景気が、穏やかに持ち直してはおりますが、海外経済の減速や円高の影響から依然として予断を許さず、特に中小企業の経営環境は非常に厳しくなっております。

先の震災では、本市でも臨海部の工業地帯を中心に液状化による被害が発生し、市では操業環境の早期回復に向けて道路整備等を進めてまいりましたが、復興に向けた企業自身の迅速な取り組みの中に、地域を動かす大きな力を感じ、活力ある街づくりの基本が産業であるということを再認識いたしました。ここに改めまして、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年4月より施行いたしました産業振興基本条例では、地域社会の発展に向けて、事業者、経済団体及び市が連携し、市民の理解と協力の下に、地域経済の活性化を図るための産業の振興に関する施策を総合的に推進することを位置付けております。

地域に根付いたイベントである「産フェスタ」による市内産業のPRをはじめといたしまして、市内消費の拡大を図ることを目的としたプレミアム商品券である「ローズいちかわ商品券」の発行、あるいは、地域登録商標の認定を受けた「市川のなし」を活用したスイーツなど様々な商品の開発・販売などを中心に、海苔や魚、花など、地域の特産物を紹介する「地域ブランド」事業など、産業振興に関する事業の多くは、商工会議所が主体となって進めていただいております。

本市でも、産業振興を市の重点施策として位置付け、制度融資の適切な運用による企業の経営安定化を基本といたしまして、商店街灯のLED化を通じた、商店街の活性化とともに市民の安全・安心にもつながる「まちの明かり」の確保、あるいは、企業の販路拡大や新たなビジネスチャンスの創出に向け、昨秋、本市ではじめて実施した「ビジネスプラン発表会」の開催など、様々な事業を実施しております。

迎える平成24年にも、これまで以上に積極的な地域経済の活性化に努めてまいります。が、依然厳しい財政状況の中で、最大限効果的に施策を展開するためには、個々の事業者が、何を考え、何を求めているのかを的確に把握していく必要があります。事業者にも最も身近な経済団体である商工会議所から日々届けられる、行政だけでは集められない生の声によりまして、それぞれの事業者のニーズに応じた、きめの細かい施策展開がはじめて可能になります。

まず地域が活力を取り戻し、国全体の発展につなげていくためには、地域における総合経済団体である商工会議所とのさらなる連携強化が必要不可欠なものと考えております。

市川商工会議所のますますのご発展と、会員各位のさらなるご繁栄を心から祈念いたしますとともに、今後とも本市行政にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



平成24年 知事年頭あいさつ

千葉県知事 森田 健作

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災により、本県では津波や液状化などにより多くの方々被災されました。

県では、震災発生後直ちに被災者の救援対策に取り組み、その後も、液状化被害に対する県独自の支援制度を新設するなど、被災者の生活再建支援をはじめとした復旧・復興対策に全力で取り組んでまいりました。

また、長引く原子力発電所事故による影響に対しても、放射性物質に対する総合的な監視体制を構築し、その検査結果を速やかに公表するなど、県民の生活環境、健康及び県産農林水産物の安全・安心の確保に取り組んでまいりました。

今後は、「千葉県震災復旧及び復興に係る指針」に基づき、市町村や地域の復興に向けた取り組みを支援するなど、一日も早い復旧・復興に向けて全庁を挙げて取り組んでまいります。また、放射性物質対策についても、県民の皆様の安全・安心を守るため、監視体制の継続や正確な情報提供、除染等の措置の推進など迅速に対応してまいります。

さらに、このたびの震災を機に、災害に強い県づくりが一層重要となっています。県では、関係機関と連携しながら防災危機管理体制を強化するとともに、地域防災力の向上に向けた取り組みを進めます。また、県立・私立学校の校舎等の耐震化を進め、安全な学習の場として、そして災害時には地域の防災拠点としての機能の確保を図ってまいります。

さて、本年は、総合計画「輝け！ちば元気プラン」の実施計画の総仕上げの年です。全庁を挙げて、総合計画の基本理念である「暮らし満足度日本一」を目指してまいります。

まず、県内経済の活性化については、東京湾アクアラインの一層の活用促進を図ります。アクアラインについては、料金引下げ社会実験の3年間延長により企業の立地が進み、平成24年度には首都圏中央連絡自動車道の木更津と東金を結ぶ区間が開通を迎えます。そこで、企業誘致の促進や観光の振興、関連道路網の整備推進など、アクアラインの経済効果を県内に広く及ぼすための取り組みを進めてまいります。

このアクアラインを使って、本年10月21日に「ちばアクアラインマラソン」が開催されます。震災から復興していく千葉県を象徴するイベントとして、また、千葉県の魅力を存分にアピールし、夢と感動を与える大会となるよう、成功に向けて取り組んでまいります。

成田空港もまた、県内経済活性化に大きな役割を果たします。年間発着枠30万回化の合意を背景に、成田空港ではローコストキャリアの就航、国内線の新規就航や増便など、新たな動きが活発化しています。こうした動きを県勢の発展につなげるため、昨年末には、経済界など広く各界からの参加を得て、『グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議』を設置いたしました。国際空港としてはもとより、国内線空港としても全国とつながる成田空港の高いポテンシャルを生かし、千葉県の飛躍拠点として県内経済活性化に取り組んでまいります。

観光業については、国内、海外の観光客数が落ち込み、厳しい状況にあります。そこで、昨年、日本への旅行客が多い台湾でトップセールスを行い、千葉の魅力をアピールいたしました。今後も風評被害を払拭し、観光を楽しんでいただけるよう、国内、海外に向け戦略的なプロモーションを展開してまいります。

商工業等においては、本県の経済、雇用を支えている中小企業を取り巻く環境も、震災被害に加え、円高、デフレなどにより、大変厳しい状況にあります。若年層をはじめとした雇用情勢の悪化も懸念されています。そこで、中小企業が経済活動を円滑に進められるよう支援を行うとともに、被災失業者や若年者等に対する就業支援を行うなど効果的な対策を実施してまいります。

そして、昨年多くの皆様に御参加いただき、ともに千葉を盛り上げてきた「がんばろう！千葉」キャンペーンですが、今後もさらに内容を充実させて展開いたします。引き続きよろしく願いたします。

本年も、商工会議所及び会員事業所の皆様とともに、「元気な千葉県づくり」を進め、千葉から日本を元気にしていけるよう、全力で県政運営に取り組む所存です。御支援、御協力をお願いいたします。



総力を結集し震災からの

復興と日本経済再生を

日本商工会議所 会頭 岡村 正

平成24年の新春にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。本年が東日本大震災からの本格的な復興と日本経済再生に向けて、力強く前進する一年であることを心から祈念いたします。

全力を挙げて震災からの復興を

昨年、わが国は未曾有の大災害に見舞われました。震災から約10カ月を経て、被災地の環境は徐々に改善されつつありますが、復興は緒に就いたばかりであり、地域経済や雇用を支える中堅・中小企業の業績回復も途上の段階にあります。また福島県では、原発事故によりいまなお深刻な状態が続いています。

商工会議所では、震災直後から各地で支援活動を展開し、昨年10月には被災地の完全復興を目指して514商工会議所が総力を結集することをあらためて誓った「福島アピール」を決議しました。これからも全国的なネットワークを活かし、支援活動に全力を傾注してまいります。

中小企業の活力強化を成長戦略の柱に

国内外の経済環境は予断を許さない状況にあります。欧州では財政問題が金融市場、さらには実体経済に影響を及ぼす負の連鎖が懸念され、米国では緩やかな景気回復が続いているものの、財政問題もあり先行きには不透明感があります。また、世界経済を牽引してきた新興国にも減速感が見られます。国内経済も震災の復興需要により回復基調にあるものの、超円高局面の継続やエネルギーの供給制約、さらにはタイ洪水被害による影響などで企業は苦境に立たされており、産業空洞化の進展が強く懸念されています。

わが国が再度立ち上がり持続的な成長路線を歩むには、中小企業や地域経済が活力を取り戻すことが不可欠です。そのためには、成長戦略の柱に中小企業の強化を位置付けることが必要であり、政府に対し強く働き掛けてまいりたいと存じます。

積極的な国際展開を

グローバル化が加速する中、日本経済成長のためには、アジアとともに成長することが不可欠です。中小企業も積極的な国際展開が重要であり、商工会議所はこれまで以上に国内外の政府関連機関などとの連携を密にしながらサポート態勢を強化してまいります。一方、円高などにより海外移転を余

儀なくされ、空洞化が進む状況は何としても防がなければなりません。国際的な立地競争力を高め、国内企業のみならず海外企業からも魅力ある投資環境が整備されるよう取り組んでまいります。

昨年、政府はTPP（環太平洋経済連携協定）交渉への参加を決定しました。今後、TPPなどの経済連携協定締結により中小企業の国際展開を強力に後押しすることが期待されますが、同時に高いレベルの経済連携と両立できる強い農林漁業の実現と、地域経済対策の確実な実行が必要です。交渉では影響を極小化しつつ、守るべきものはしっかり主張して国益の最大化を図らなければなりません。政府には強い交渉力を発揮できるよう万全の態勢で臨むことを求めるとともに、商工会議所としても農工商連携などによる6次産業化や輸出促進、観光振興などを含めた地域活性化に一層取り組んでまいります。

日本再生に向けて勇気と希望を

東日本大震災は国民生活や日本経済に深い傷跡を残しながらも、日本人の行動力、絆の深さをあらためて示すことになりました。これからも国民が絆と連帯の精神で一丸となつて、本格的な復興と日本経済再生を果たしていかなければなりません。商工会議所は昨年、2020年オリンピック・パラリンピック招致実現に向けて全面的に支援することを表明しましたが、これが国民の心を奮い立たせ夢を持てるような「共通の目標」となることを期待しており、積極的に活動を展開してまいる所存です。

130年を超える商工会議所の長い歴史を振り返れば、創設者・渋沢栄一翁をはじめとする先達は叡智や力を結集し、イノベーションによって幾多の困難を乗り越えてきました。わが国は戦後最大の危機を迎えていると言っても過言ではありませんが、現代を生きる私たちもこの国難に打ち勝つ底力を有していると確信しています。

辰年は「動いて伸びる年」とされます。日本商工会議所は、直面する厳しい状況を打開し、持続可能な経済成長を実現するため、各地の商工会議所との連携をこれまで以上に緊密にし、会員企業の皆さまとともに前進していく決意であります。皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新年あけまして おめでとうございます



市川商工会議所 副会頭 片岡 直公	市川商工会議所 副会頭 田嶋 誠	市川商工会議所 副会頭 佐久間 信夫	市川商工会議所 副会頭 石井 邦夫	市川商工会議所 副会頭 中村 政勝
市川商工会議所 顧問 大久保 博	市川商工会議所 顧問 金子 和夫	市川商工会議所 顧問 米山 精次	市川商工会議所 顧問 佐藤 フジエ	市川商工会議所 顧問 長島 洋三
市川商工会議所 顧問 芝田 太市	市川商工会議所 顧問 宇田川 進	市川商工会議所 参与 小島 武久	市川商工会議所 参与 鈴木 衛	市川商工会議所 参与 芝田 康雄
市川商工会議所 参与 竹内 清海	市川商工会議所 参与 稲葉 健一	市川商工会議所 参与 鈴木 啓一	市川商工会議所 専務理事 永池 一秀	市川商工会議所 常務理事・ 事務局長 戸坂 幸一



<p>啓成そろばん</p> <p>鈴木 啓一</p> <p>〇四七・三九七・六九六一</p>	<p>代表取締役</p> <p>松井 玲子</p> <p>市川市南八幡五・一七・二二 〇四七・三七七・二九一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>加藤 泰寛</p> <p>市川市市川一・二二・三・九 〇四七・三二二・五五〇一</p>	<p>(株)秋元</p> <p>代表取締役</p> <p>秋元 卓哉</p> <p>市川市国分二・八・二二三 〇四七・三七四・〇一一三三</p>	<p>(株)天乃家石材店</p> <p>取締役 会長</p> <p>天野 一雄</p> <p>市川市大野町四・二四六三 〇四七・三三七・八九一九</p>
<p>(株)和泉家石材店</p> <p>副社長</p> <p>和泉 太郎</p> <p>市川市大野町四・二四五二 〇四七・三三七・七三三三</p>	<p>代表取締役</p> <p>月居 竜吾</p> <p>市川市稲荷木二・二〇・一四 〇四七・七〇五・七六二四</p>	<p>市川青色申告会</p> <p>会長</p> <p>中臺 實</p> <p>市川市八幡一・二二・二〇 〇四七・三三三・〇一一一</p>	<p>(株)市川環境エンジニアリング</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>石井 邦夫</p> <p>市川市田尻二・一・二五五 〇四七・三七六・一七一</p>	<p>市川地所(株)</p> <p>代表取締役</p> <p>市川 康子</p> <p>市川市菅野五・三・二八 〇四七・三二一・一一一六六</p>
<p>市川市農業協同組合</p> <p>代表理事 組合長</p> <p>小泉 勉</p> <p>市川市北方町四・一三五二・二 〇四七・三三九・一一一一</p>	<p>(株)市川ビル</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>田平 和精</p> <p>市川市市川一・四・一〇 〇四七・三二五・二二八一</p>	<p>市原企業(株)</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>山崎 敬生</p> <p>市原市青柳二・一・二二三 〇四三六・二二・八一〇〇</p>	<p>SKバンケット</p> <p>代表</p> <p>角能 奈緒美</p> <p>市川市南八幡四・一五・一六・四〇四 〇四七・三七九・〇五五六</p>	<p>(株)NTT東日本 千葉営業支店</p> <p>支店長</p> <p>堀内 君夫</p> <p>船橋市湊町二・六・三三三 〇四七・四三五・一二三二</p>
<p>(株)MSプランニング</p> <p>代表取締役</p> <p>中村 政勝</p> <p>市川市八幡三・六・一 〇四七・三二三・三八三三</p>	<p>代表取締役</p> <p>久保 裕司</p> <p>市川市塩焼三・四・二一 〇四七・三九六・一八八一</p>	<p>(株)加藤新聞舗</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>加藤 憲一</p> <p>市川市市川二・四・九 〇四七・三二六・六一〇九</p>	<p>(有)金子薬局</p> <p>代表取締役</p> <p>金子 道彦</p> <p>市川市市川一・六・一四 〇四七・三二二・二四二〇</p>	<p>菊原公認会計士事務所</p> <p>代表</p> <p>菊原 栄三</p> <p>市川市南行徳三・一・二 〇四七・三九五・八五四一</p>
<p>(株)きたざわ</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>北澤 徴</p> <p>市川市南大野三・二二・三 〇四七・三三八・七七二二</p>	<p>代表取締役</p> <p>北川 善剛</p> <p>市川市八幡四・一七・二六 〇四七・三三五・五七五四</p>	<p>(有)グレン・ド・ポータ</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>田村 和一</p> <p>市川市八幡二・七・六 〇四七・三三五・四五九八</p>	<p>京葉ガス(株)</p> <p>相談役</p> <p>佐久間 信夫</p> <p>市川市市川南二・八・八</p>	<p>(株)京葉銀行市川市店</p> <p>支店長</p> <p>根津 久一郎</p> <p>市川市市川一・五・一六 〇四七・三二四・二二二一</p>
<p>(株)京葉VIPエンタープライズ</p> <p>代表取締役</p> <p>渋谷 晴光</p> <p>市川市田尻四・一・八 〇四七・三七八・八八三三</p>	<p>代表取締役 社長</p> <p>湯浅 秀俊</p> <p>市川市市川南二・七・二 〇四七・三二四・五九七七</p>	<p>土と水のコンサルタント</p> <p>(株)国際技術コンサルタント</p> <p>代表取締役</p> <p>中村 政邦</p> <p>市川市新田五・四・四 〇四七・三二六・五九五一</p>	<p>(株)コジマ商事</p> <p>代表取締役</p> <p>小島 武久</p> <p>市川市八幡三・四・一 〇四七・三二三・〇一四一</p>	<p>(株)ゴトウ</p> <p>代表取締役 社長</p> <p>後藤 守宏</p> <p>市川市田尻二・四・一八 〇四七・三七〇・一七八一</p>

<p>所 長 後藤 晃司</p> <p>後藤晃司税理士事務所</p> <p>市川市南八幡四・七・一二 ラ・パシフィックB棟802 〇四七・三七八・三八四七</p>	<p>代表取締役 飯沼 俊雄</p> <p>市川市南八幡四・一五・一二 〇四七・三七八・五一一一</p>	<p>代表取締役 佐藤 智枝子</p> <p>市川市市川一・一七・一四 〇四七・三二二・二六六八</p>	<p>代表取締役 太田 敏男</p> <p>市川市市川一・一・一 〇四七・三二六・二二六五</p>	<p>代表取締役 稲葉 章</p> <p>市川市八幡二・一七・一 〇四七・三三六・二二一一</p>
<p>取締役 総支配人 城 安雄</p> <p>(有)ジェイホテル 中国ラウンジ味雅</p> <p>市川市八幡三・一九・三 〇四七・三二二・三七四一</p>	<p>代表取締役 澁谷 誠</p> <p>市川市市川一・七・一三 〇四七・三二一・二〇五五</p>	<p>代表取締役 高橋 村吉</p> <p>市川市市川一・七・一三 〇四七・三二一・二〇五五</p>	<p>代表取締役 越永 雄一</p> <p>市川市須和田一・一・六 〇四七・三七二・一一五一</p>	<p>代表取締役 松丸 幸一</p> <p>市川市八幡二・一・一三 〇四七・三三六・四五〇三</p>
<p>弁護士 村越 進</p> <p>新千代田総合法律事務所</p> <p>千代田区神田保町二・三・一 岩波書店アネックス8F 〇三・三二二・三九・五三六〇</p>	<p>代表取締役 鈴木 宏尚</p> <p>市川市真間二・一五・一二 〇四七・三二二・八一一一</p>	<p>代表 陶山 修達</p> <p>市川市真間二・一六・八 〇四七・三二二・二五五四</p>	<p>代表取締役 片岡 直公</p> <p>東京都中央区日本橋浜町一・一二 〇三・三八六・二・三三二一</p>	<p>代表取締役 梅野 節也 梅野 緑</p> <p>市川市市川一・二六・一六 〇四七・三二六・六一六六</p>
<p>代表 武井 清健</p> <p>たけいフルーツ</p> <p>市川市市川南一・三・三 〇四七・三二二・二九六二</p>	<p>代表取締役 田島 雄光</p> <p>市川市下新宿七・二五 〇四七・三五八・二二二一</p>	<p>代表取締役 北川 佐多雄</p> <p>市川市八幡二・三・二二 〇四七・三三五・八八八五</p>	<p>代表取締役 原田 嘉中</p> <p>市川市国府台一・三・一 〇四七・三七二・四一一一</p>	<p>支店長 片倉 浩二</p> <p>市川市市川一・七・一二 〇四七・三二二・〇一六一</p>
<p>代表取締役 田中 文明</p> <p>(株)千葉コピーセンター</p> <p>市川市八幡一・一・九 〇四七・三三六・六七三二</p>	<p>代表取締役 塚本 眞巳</p> <p>市川市新田一・一〇・三 〇四七・三二二・五七二五</p>	<p>代表取締役 塚本 福一</p> <p>市川市新田五・八・二七 〇四七・三二二・一一三一</p>	<p>取締役 副会長 田嶋 誠</p> <p>市川市市川一・九・二 〇四七・三二二・〇〇〇一</p>	<p>代表取締役 山本 忠雄</p> <p>市川市南八幡一・二四・一二 〇四七・三七八・四一〇一</p>
<p>代表取締役 浮谷 直之</p> <p>(株)電洋社</p> <p>市川市市川南三・一四・三七 〇四七・三二四・八八〇〇</p>	<p>理事長 菊安 満雄</p> <p>市川市市川一・二三・二八 〇四七・三二六・一一一一</p>	<p>代表取締役 佐藤 信廣</p> <p>市川市新田三・一八・九 〇四七・三七〇・二五五二</p>	<p>代表取締役 山下 清俊</p> <p>市原市青柳北一・二・一 〇四三六・二二・二〇三一</p>	<p>代表取締役 富川 幹夫</p> <p>市川市堀之内一・二〇・一 〇四七・三七二・七二一〇 〇四七・三七二・八九七七</p>

<p>代表取締役 中基 實</p> <p>市川市本塩二・一・三 〇四七・三五七・二〇六一</p>	<p>代表取締役 岸本 幸子</p> <p>市川市押切一三・一・一〇三 〇四七・三〇〇・四八八八</p>	<p>代表取締役 中山 忠三</p> <p>市川市大和田四・一九・八 〇四七・三七八・三二二六</p>	<p>代表取締役 南 雲 誠</p> <p>市川市原木二・一・一・一五 〇四七・三二七・四四八〇</p>	<p>代表取締役 野村證券(株)市川支店</p> <p>市川市市川一・六・一九 〇四七・三二一・三八一一</p>	<p>代表取締役 椎野 博</p> <p>市川市東浜一・二・四 〇四七・三二七・五八六〇</p>
<p>代表取締役 山本 弥恵子</p> <p>市川市八幡三・二七・二〇〇 〇四七・三二六・〇〇一一〇</p>	<p>代表取締役 篠原 武義</p> <p>市川市市川一・二七・八・二F 〇四七・三二二・六一〇三</p>	<p>代表取締役 井澤 健彦</p> <p>市川市八幡三・三・三・六 ザ・リージェント市川二F 〇四七・三九三・七五五五</p>	<p>代表取締役 福田 雅夫</p> <p>市川市南八幡二・二二・一六 〇四七・三七〇・八一三四</p>	<p>代表取締役 加藤 金蔵</p> <p>市川市真間四・五・七 〇四七・三七五・三八六一</p>	<p>代表取締役 青山 純一</p> <p>市川市行徳駅前二・一七・五 〇四七・三五七・四七八〇</p>
<p>代表取締役 関根 豊</p> <p>市川市鬼高三・一三・一 〇四七・三七〇・七五四二</p>	<p>代表社員 原 俊</p> <p>市川市北方一・一六・六 〇四七・三三三・六六六六</p>	<p>代表取締役 福田 雅夫</p> <p>市川市南八幡二・二二・一六 〇四七・三七〇・八一三四</p>	<p>代表取締役 村岡 実</p> <p>市川市南八幡四・六・五 ラ・ファイネ市川一F 〇四七・三七八・七七四六</p>	<p>代表取締役 村岡ゴム工業(株)</p> <p>市川市相之川三・二・一三 〇四七・三九六・二二一一</p>	<p>代表取締役 内山 明夫</p> <p>市川市相之川三・二・一三 〇四七・三九六・二二一一</p>
<p>取締役社長 三浦 祝子</p> <p>市川市八幡二・一・一・一四 〇四七・三三三・〇二七三</p>	<p>代表取締役 水野 茂</p> <p>市川市国府台四・六・二二 〇四七・三七二・〇一一一</p>	<p>取締役 羽田 安雄</p> <p>市川市市川南一・七・八 〇四七・三二二・四三六五</p>	<p>代表取締役 山中 右次</p> <p>市川市八幡四・一・六 〇四七・三三二・五五一五</p>	<p>代表取締役 原 一公</p> <p>市川市八幡二・五・二 〇四七・三三四・三三三三</p>	<p>代表取締役 原 一公</p> <p>市川市八幡二・五・二 〇四七・三三四・三三三三</p>
<p>代表取締役 森井 康夫</p> <p>市川市南八幡二・一六・二〇 〇四七・三七八・二四二四</p>	<p>代表取締役 佐藤 フジエ</p> <p>千葉市美浜区ひび野一・一一 〇四三・二九六・三一一一</p>	<p>代表取締役 林谷 宏一</p> <p>市川市市川一・九・二 〇四七・三二四・三三六一</p>	<p>代表取締役 山中 右次</p> <p>市川市八幡四・一・六 〇四七・三三二・五五一五</p>	<p>代表取締役 原 一公</p> <p>市川市八幡二・五・二 〇四七・三三四・三三三三</p>	<p>代表取締役 原 一公</p> <p>市川市八幡二・五・二 〇四七・三三四・三三三三</p>
<p>代表取締役 米山 精次</p> <p>市川市鬼高三・二八・一六 〇四七・三七〇・一一一一</p>	<p>代表取締役 米山 精次</p> <p>市川市市川南一・九・二三 京葉住設市川ビル5F 〇四七・三二五・七三七八</p>	<p>代表 宮内 浩美</p> <p>江戸川区桜四・一七・三・二〇九 〇三・三六五・七三七四</p>	<p>代表 若張 則男</p> <p>市川市南八幡四・七・一二 ラ・パシフィックB 1 〇四七・三七〇・一二三四</p>	<p>代表 若張 則男</p> <p>市川市南八幡四・七・一二 ラ・パシフィックB 1 〇四七・三七〇・一二三四</p>	<p>代表 若張 則男</p> <p>市川市南八幡四・七・一二 ラ・パシフィックB 1 〇四七・三七〇・一二三四</p>